

Sophia Fukuoka Junior and Senior High School



学校法人 上智学院

上智福岡中学高等学校

SCHOOL GUIDE 2024



上智福岡中学高等学校

<https://www.sophia-fukuoka.ed.jp>



*For Others,
With Others*



Contents

校長メッセージ	02
本校について 沿革／校訓／校歌／校章	03
卒業時の生徒の姿	04
イエズス会とその教育精神	05
上智福岡の目指す六年一貫教育	06
21世紀型新カリキュラム 大学受験を見据えた学力づくり 問題発見・解決型授業 「Studies For Others(SFO)」	08
上智福岡の理系教育	10
英語コミュニケーション教育	12
グローバルリーダー育成プログラム 上智大学との教育提携プログラム	13
海外研修	14
国内研修・ボランティア	16
留学生受け入れ・国際交流	18
コンテスト	19
上智福岡の心	20
上智福岡の一日	20
年間行事	22
クラブ活動	24
施設紹介 キャンパスマップ	26
進路指導	28
入学について 入試情報 校納金	30
制服紹介	31
よくあるご質問	32
在籍生徒住所分布	33
交通案内	33

SOPHIA FUKUOKA

「より大いなるものを知り、他者に奉仕し、世界への懸け橋となるリーダー」を育てます。



学校法人上智学院
上智福岡中学高等学校
学校長 船橋 巖
Iwao Funabashi

上智福岡はキリスト教カトリック修道会であるイエズス会を経営母体とする学校です。イエズス会学校の歴史は、フランシスコ・ザビエルが日本の地を踏む前年の1548年にイタリアで始まり、わが国では1580年に建てられた安土と有馬のセミナリオ、府内のコレジオにまで遡ります。その草創期から、「若者の教育は世界の変革である」「Puerilis Institutio est Renovatio Mundi」と信じ、「知識の修得」と「公益に奉仕する人格の陶冶」をすべての生徒に心掛け、卓越した人間性の育成を大切にしてきました。

ICTの急速な発展とグローバル化が進む時代へと変わり、今私たちは地球規模の様々な課題を抱える世界に生きております。この21世紀においても、イエズス会教育の伝統が変わるところはございません。本校は生徒一人ひとりに寄り添い支えながら、与えられた能力を十全に伸ばし、他者を自分のように大切にできる優しさと、良心の声に従って行動する勇気を生徒に育てます。私たちはこのようにして、生徒が自分の適性に合った形で、他者と共に、よりよい世界、より暮らしやすい世界づくりに貢献する人へと成長してゆけるように日々教育を行っております。

沿革

1932年(昭和 7年 4月)	福岡カトリック神学校として開校
1932年(昭和 7年10月)	福岡市薬院御所谷に移転、カトリック学院と改称
1933年(昭和 8年 6月)	福岡市平尾杉谷に移転
1936年(昭和11年 3月)	泰星中学校と改称
1946年(昭和21年 4月)	カトリックマリア会に経営移管
1948年(昭和23年 4月)	新制泰星高等学校開校
1951年(昭和26年 3月)	学校法人泰星学園設立
1969年(昭和44年 4月)	カトリック福岡司教区に経営移管
1974年(昭和49年 2月)	福岡市中央区輝国に第1期建設工事竣工
1983年(昭和58年 4月)	イエズス会に経営移管、校地拡張
1984年(昭和59年 4月)	6ヶ年1期生中学入学
1990年(平成 2年 3月)	6ヶ年1期生高校卒業
1992年(平成 4年 4月)	創立60周年を迎える
2010年(平成22年 4月)	上智大学と教育提携開始
2011年(平成23年 4月)	上智福岡中学高等学校に校名変更、上智福岡1期生入学
2012年(平成24年 4月)	男女共学開始
2016年(平成28年 4月)	学校法人「上智学院」、「栄光学園」、「六甲学院」、「広島学院」と法人合併し、法人名を「学校法人 上智学院」と改称

Magis — さらによりよく —

校訓

For Others, With Others — 他者に奉仕する —

Excellence — 卓越性を求める —



校歌

はばたけ ソフィアの鷲よ

作詞・作曲 新井 満

- 青空にはばたけ ソフィアの鷲よ
虹の橋 こえて まなざし高く
この惑星の限りない平和のために
今こそ使命 はたすとき
Men and Women for Others, with Others
上智福岡 上智福岡
われらが母校
- 明日へとはばたけ ソフィアの鷲よ
闇の空 こえて 勇気もやして
この惑星の美しいいのちのために
今こそ愛を歌うとき
Men and Women for Others, with Others
上智福岡 上智福岡
われらが母校

校章



本校の校章は、「盾」に描かれた「鷲」、英語名である SOPHIA FUKUOKA の文字が染め抜かれたフラッグから成り立っています。

「盾」は知性と思慮深さを表す紺青(こんじょう)色と秘めた情熱を表す臙脂(えんじ)色で彩られ、その2色でキリストの愛の象徴である十字架を浮かび上がらせています。さまざまな悪に立ち向かい、多くの人を守りながら導いていく「盾」は、まさに For Others, With Others を象徴しているものといつてよいでしょう。

「鷲」は上智大学のシンボルマークであり、「ソフィアの鷲」と呼ばれています。真理の光をめざして力強くはばたく姿をかたどったもので、中央にしるされた文字は、「真理の光(Lux Veritatis)」の頭文字です。ソフィア(SOPHIA)とはギリシャ語で「人を望ましい人間へと高める最上の叡智」を意味します。

この「盾」と「鷲」を組み合わせることで、For Others, With Others の精神に、最上の叡智を追い求める本校の教育精神を示したものとなっています。

For Others, With Others



「より大いなるものを知り、他者に奉仕し、世界への懸け橋となるリーダー」を育てます。

上智福岡は、授業の主体的・対話的で深い学びと学校生活でのあらゆる教育活動を通して次のような人を育てます。

1 キリスト教ヒューマニズムを身につけている

『隣人愛』学校生活を共にする人びとを大切にでき、敬意や感謝を示し、他者を思いやり赦すことができるようになります。

『真理の探究』けじめのある学校生活の中で、基本的な生活習慣と学習習慣を身につけ、すべての科目に興味と関心を持って、より真なるもの、善なるもの、美なるもの、そして聖なるものを探究します。

『人格の陶冶』真・善・美を知る喜び、聖なるものへの畏敬の念を感じる感性を身につけ、それらが自分を自由にし、与えられた特性や才能を、他者や社会の必要とされるところですんで役立てることができる人になります。

- ① キリスト教ヒューマニズムに触れ、理解している
- ② 他者や社会に奉仕する中で自己の人格を陶冶することを目指す
- ③ 真理を研究し、真の自由を得るために、自らを高めることができる

2 他者に仕えるリーダーシップを持っている

『奉仕』異なる性格、考え、感性、能力を持つ仲間と協力し、居心地のよい学校環境をつくり、人の喜ぶ姿を見て、真の幸せを感じる人になります。

『使命感』自分が家庭、学校や社会の中で生まれていることを知り、よい共同体を作るために責任を持って自分の役割を果たせるようになります。

『リーダーシップ』学習活動、部や委員会活動、諸行事、奉仕活動に積極的にかかわるなかで、リーダーに必要な論理的思考力、コミュニケーション能力、行動力などを身につけ、やがては、責任ある立場に立って地球社会に貢献できるようになります。

- ④ 他者のために仕える精神をもっている
- ⑤ 社会から受ける恩恵を自覚し、それに伴う責任感を持っている
- ⑥ リーダーシップに必要な基礎能力を持っている

3 グローバル・コンピテンシーを持っている

『地球規模の問題への関心』世界の自然、地理、歴史を学び、地球規模で起きている諸問題へ目を向け、これらの問題を理解し、合理的解決への取り組みができるために、自然科学の知識と、思考手段として数学を習得します。

『コミュニケーション能力』さまざまな文化の違いを理解し、その違いを肯定的に受け止める心構えと、外国語、特に英語で他者とコミュニケーションを取ることができる力を身につけます。

『異文化受容』諸文化の価値を認めながら、すべての人々が平和で幸せに暮らせる世界を築くために、対立や分裂を乗り越えて人と協働できる力を身につけます。

- ⑦ 世界の自然、地理、歴史を学び地球規模の問題への関心を抱いている
- ⑧ 外国語でコミュニケーションを取ることができる
- ⑨ さまざまな文化の違いを理解し、その違いを肯定的に受け止め、それらの懸け橋となれる



イエズス会とその教育精神

カトリックイエズス会(ラテン語名：Societas Iesu、英語名：The Society of Jesus、総本部：ローマ)は、日本に初めてキリスト教を伝えたフランシスコ・ザビエル(1506-1552)や、イグナチオ・デ・ロヨラ(1491-1556)ら7人の同志によって設立された、カトリックの男子修道会です。

1908年、日本に大学を設立するために3人のイエズス会士が来日し、1913年、専門学校令による上智大学が開校しました。その後、1948年に新制大学として発足し、現在に至るまで、上智大学は、カトリック・キリスト教ヒューマニズムに基づく人間教育の中心であり続けています。イエズス会は、教育目標として、「For Others, With Others」を掲げています。「自分の才能や能力を自分の満足や利益のためだけでなく、他者のために役立てる人」ということを意味します。この指針は上智大学をはじめ、鎌倉の栄光学園、神戸の六甲学院、広島県の広島学院といった本校の姉妹校すべてにおいても継承されている教育精神です。



イグナチオ・デ・ロヨラ



「聖フランシスコ・ザビエル像」(レプリカ) 上智大学所蔵

学校法人上智学院が設置する学校

高等教育機関

- ① 上智大学
(東京都千代田区)
- ② 上智大学短期大学部
(神奈川県秦野市)

中等教育機関

- ③ 栄光学園中学高等学校
(神奈川県鎌倉市)
- ④ 六甲学院中学校・高等学校
(兵庫県神戸市)
- ⑤ 広島学院中学校高等学校
(広島県広島市)
- ⑥ 上智福岡中学高等学校
(福岡県福岡市)





上智福岡の目指す六年一貫教育

基本的な学習習慣を確立し、基礎学力の定着を図る

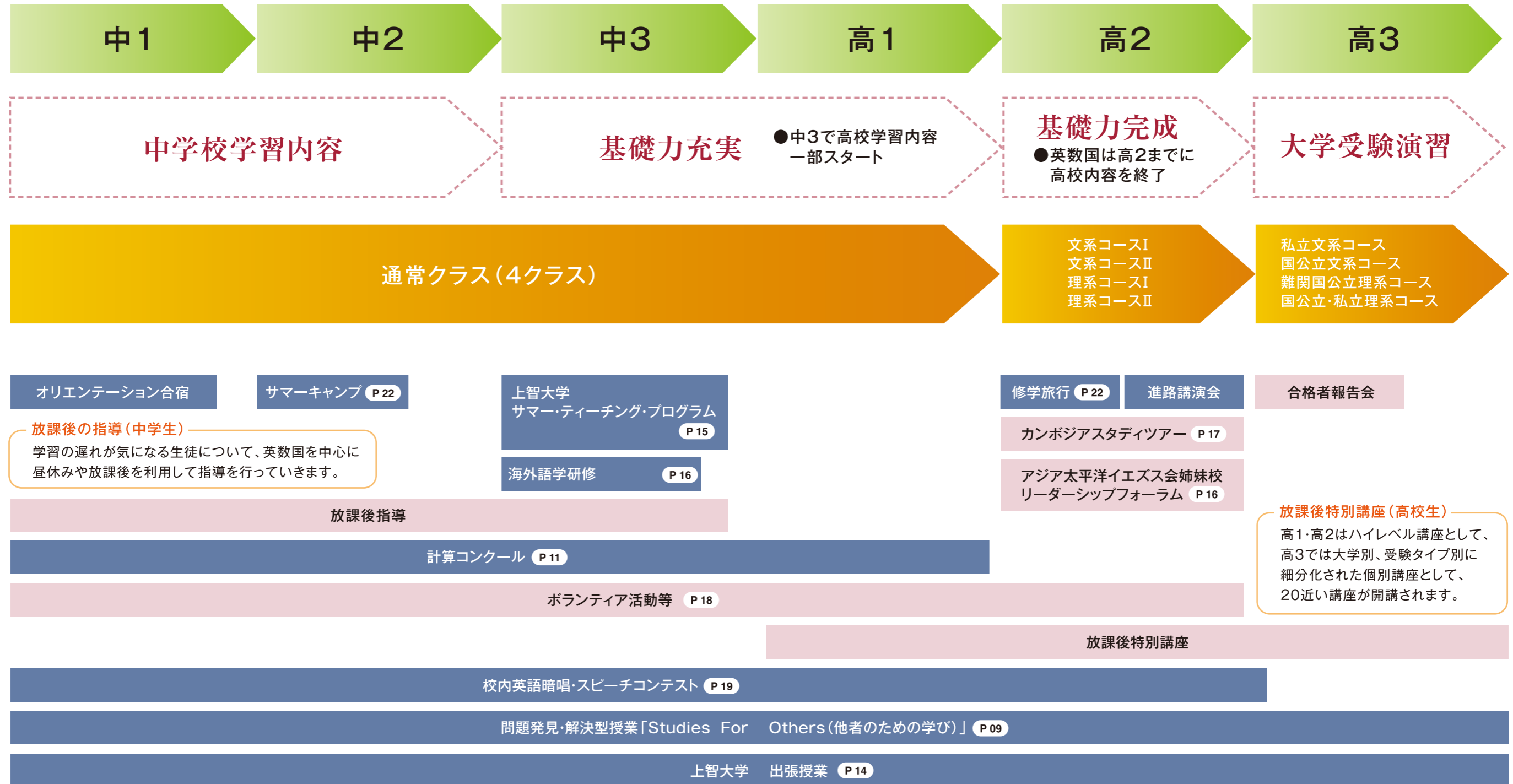
課題に取り組んでいく中で、授業と家庭学習という基本的な学習習慣を身につけ、その成果を小テストなどで確認していきます。学習習慣が身につけていない生徒に関しては、昼休みや放課後を利用して指導を行います。

広く深く学力の充実を図り、将来の進路を考える

中学から高校の課程に移る段階で、学びのレベルが上がります。高校レベルの勉強にスムーズに移行できる高2での文系・理系コースの選択を取り組みを行っていきます。

受験への意識を高め、目標達成に向けて学力を磨く

高2の早い時期に、生徒との面談を通して自分の目標とする大学・学部・学科を明確にし、受験への意識を高めていきます。高3では、生徒の志望に沿って、文系・理系コースを国公立・私立コースに細分化し志望大学合格に向けた徹底的な指導を行います。



■ 全員参加 ■ 希望者参加

1. 大学受験を見据えた学力づくり

各教科を授業内容により各科目に細分化し、十分な授業時間を確保しながら、生徒に内容をしっかり理解させる取り組みを行っています。また、生徒1人1台のICT端末を導入したことで、よりアクティブな授業展開、より深い個別学習や協働学習が可能となりました。

中学授業プログラム

教科	科目	学年	時間数	授業内容
英語	英語	中1	4	英語の基礎・基本を学び、読む力・聴く力を伸ばす授業
	E語	～中3	2	外国人教員とのチーム・ティーチングで書く力・話す力を伸ばす授業
	多読	中2・3	1	興味関心のある英語の本を読み進める授業
数学	数学α	中1	3～4	代数分野を中心とした授業
	数学β	～中3	2～3	幾何分野を中心とした授業。中2では週3時間をかけて行う
国語	国語A	中1	3	現代文の文章解釈を中心とした授業
	国語B	～中3	2	文法(口語・文語)を中心とした授業
	国語C	中3	1	漢文を中心とした授業
理科	理科I	中1・2	2	中学理科(物理・化学・生物・地学)を中心とした授業・実験
	理科II		2	
	理科I	中3	2	中学理科まとめを中心とした授業・実験
	生物基礎		2	
社会	地理	中1・2	2	人々の多様な暮らし方や社会条件を学ぶことで、他者への寛容な視点を養う
	歴史		2	過去の社会や人々を学ぶことで、現代社会についての多角的な視点をも養う
	公民	中3	4	現代社会のしくみや課題を学ぶことで、社会における自己の活かし方を考える

2. 問題発見・解決型授業「Studies For Others(SFO)」

「Studies For Others」(他者のための学び)は、「平和構築・貧困の解決」を基調とした問題発見・解決型「総合的な学習・探究の時間」です。6学年それぞれ成長段階に応じたテーマが設定され、学校で学ぶ知識や体験を活用して「平和構築」「貧困の解決」の妨げに気づき、その克服に関わる志と資質を育てます。主な内容は以下のとおりです。

2022年度実践例

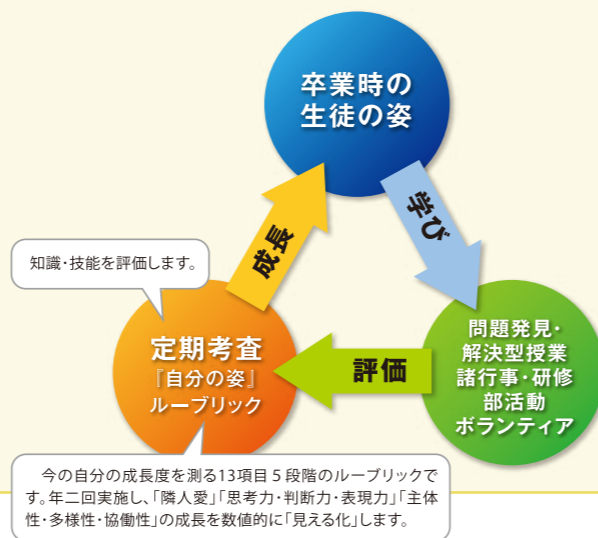
中1課題研究テーマ	中2課題研究テーマ	中3課題研究テーマ
<p>「探求の共同体」の形成</p> <p>入学当初から仲間づくりのアイスブレイクやクラスの共同作業を通して、「共に学びに向かう」という理想のクラス像を協力して作り上げていきます。貿易ゲームや哲学対話のほか、文化祭の発表準備などの共同プログラムを実施します。</p>	<p>言葉を使って論理的に表現する</p> <p>社会問題等に対する自分なりの主張を、事実等のデータを根拠に、その論拠・理由付けを説明し、説得力のある文章として論理的に表現する方法を学びます。また、ペアワークやグループワーク等の学習活動を通して、表現力だけでなく、思考力や判断力をも育むプログラムを実施します。</p>	<p>良心(Conscience)に向かう科学(Science)の錬成</p> <p>科学を正しく認識し、正しい在り方を探求することを目的とし、実体験の生活や科学的な事象に関する疑問の探究を行っています。グループ活動を通して、ICTを活用したプレゼンや論文作成を行うことで、論理的に説明する力を養います。</p>
高1課題研究テーマ	高2課題研究テーマ	高3課題研究テーマ
<p>「自分の生き方を考える」</p> <p>人間の発達段階を知り、自分が位置している青年期について理解を深めつつ、自分の価値観に向き合い、今後の自分の生き方を考えていきます。生き方を考える中で、キリスト教的価値観を一つのモデルとして学びます。学期ごとのレポート作成を通じて、自分自身に向き合いつつ、それを他者に伝えるように表現する力を養います。</p>	<p>コーポレートアクセス</p> <p>教室内外でインターンとして企業活動に参加し、企業から課される正解のないミッションに対し、仲間と力を合わせ、考え、行動し、オリジナルの答えを見つけることを体験的に学ぶことで、自ら課題を発見し、その解決のために必要な情報を探し、計画立てて行動する能力を養います。</p>	<p>“My Mission”平和構築・貧困の解決にむけて卒業後10年の軌跡</p> <p>国連が定めるSDGs17のゴールのなかに自分の使命とする課題を見つけ、どのように解決に取り組みこの世界に貢献していくのかを探究し、My Missionとして英語で発表します。</p>

※高1のSFOは宗教と協働した授業を行っています。

Rubric Evaluation

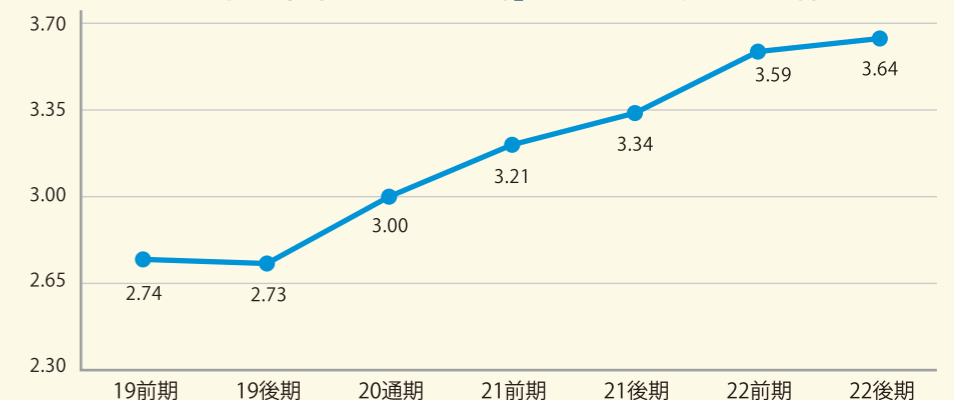
『自分の姿』ルーブリックで一人ひとりの人間力を「見える化」します。

ルーブリックとは私たちの教育目標である『卒業時の生徒の姿』への到達度を示す言動の評価指標です。本校が開発した『自分の姿』ルーブリックにより、定期考査による知識技能の評価だけでなく、見えにくいとされる「思考力・判断力・表現力」「隣人愛・リーダーシップ」などの人間力の評価を可能にしました。



本校ではこのルーブリック評価を年2回実施し、授業、課外活動、諸行事を通して生徒一人ひとりが、『卒業時の生徒の姿』へと成長しているのかを検証いたします。また、その結果をもとに絶えず教育活動の向上を図ります。右のグラフは、2022年度卒業した生徒の4年間の成長の軌跡です。年ごとに人間力をつけていることが見て取れます。

2022年度卒業生『自分の姿』ルーブリックスコア伸長度



上智福岡の理系教育

体系数学で数学を体系的に学ぶ

本校では、中学1年生、中学2年生で、数学の教材として、中高一貫校用のテキスト「体系数学」を使用しています。



体系数学を使用するメリット

○数学を体系的に学ぶことができる

例えば、「等しい」関係を表す「方程式」は中学1年生で学びますが、「大きい」「小さい」といった関係を表す「不等式」を学ぶのは検定教科書では高校1年生です。本来「等しい」「大きい」「小さい」はごく自然につながって理解される内容であり、体系数学では「不等式」を中学1年生で学びます。

○分野ごとにテキストが分かれている

体系数学はテキストが「代数編」と「幾何編」に分かれています。数学において、計算力はもちろん大切ですが、学年が上がるにつれて、幾何の分野の重要性が増してきます。実は、体系数学では「幾何編」がとても充実しているため、中学生の段階から幾何をしっかり学ぶ上では最適のテキストです。

理科実験を通して理科への興味・関心を育む

○物理・化学・生物の3つの実験室を備え、各実験室や観察を通して、理科に対する興味・関心を刺激し、**実感の伴った理解を促しています。**

○中学・高校の6年間を通して、**物理・化学・生物・地学の4分野をバランスよく学びながら**、さまざまな自然現象に対する科学的な考え方(思考力)を育みます。

中学では各分野の基礎的な内容を学び、高校では中学で学んだ基礎をいかして、より発展的な内容に取り組めます。

○物理部や生物・化学部などのクラブ活動では、中学生と高校生と一緒に活動し、**研究の基礎となる考察力を身につけることができます。**

○物理・化学・生物・地学すべての科目の**専門教員が専門性を生かして教えています。**

○**難関大学や医学部にも対応できるように高3で演習を積むことが可能です。**



計算コンクールで計算力を鍛える

本校では、中学1年生～高校1年生を対象として、既習分野の計算のスピードと正確さを競う「計算コンクール」を実施しています。60～100問の問題にチャレンジする中で、**計算力はもちろんのこと、集中力や忍耐力も同時に養われます。**

中1と中2、中2と中3、中3と高1、と2学年合同で競い合い、成績優秀者には賞状も授与されるため、生徒の取り組むモチベーションがさらに高まります。

基礎となる英語力が理系学部への高い合格率を支える

医歯薬系をはじめとする理系学部合格に必要なものは、もちろん数学と理科の力ですが、その基礎となるのは英語力です。本校の充実した英語教育力と培われてきた理系指導のノウハウが理系学部への高い合格率を支えています。

医・歯・薬・獣医学部への合格実績 (2019～2023年度)

医学部 医学科

- 佐賀大学 ……………3名
- 大分大学 ……………1名
- 長崎大学 ……………1名
- 熊本大学 ……………2名
- 琉球大学 ……………1名
- 旭川医科大学 ……………1名
- 島根大学 ……………1名
- 順天堂大学 ……………1名
- 国際医療福祉大学 ……………1名
- 近畿大学 ……………1名
- 東京医科大学 ……………1名
- 関西医科大学 ……………2名
- 金沢医科大学 ……………5名
- 川崎医科大学 ……………2名
- 産業医科大学 ……………2名
- 久留米大学 ……………11名
- 福岡大学 ……………10名

歯学部 歯学科

- 岡山大学 ……………1名
- 九州歯科大学 ……………1名
- 東京歯科大学 ……………1名
- 日本歯科大学 ……………2名

薬学部

- 長崎大学 ……………1名
- 慶應義塾大学 ……………1名
- 東京理科大学 ……………2名
- 立命館大学 ……………2名
- 福岡大学 ……………27名

獣医学部

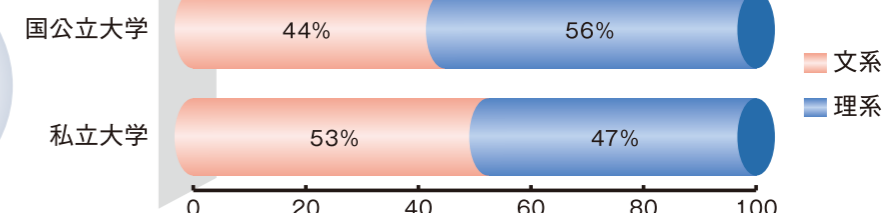
- 鹿児島大学 ……………2名
- 麻布大学 ……………3名
- 北里大学 ……………2名
- 岡山理科大学 ……………6名

他多数

医学部医学科 **54名**

歯・薬・獣医学部 **92名**

文理別
合格者割合
(2023年度)



国際社会に通じる実践的な 英語コミュニケーション能力を身につけます。

1. 「世界への架け橋となるリーダー」にふさわしい語学力を

上智福岡中学高等学校が目標とする「世界への架け橋となるリーダー」に必要な英語コミュニケーション能力として、次の力が高校卒業時に身につくことを目指します。

- Point | 1 社会性の高い内容の文章を理解し、また書くことができる。
- Point | 2 伝えたい内容を論理的に話し、質問に的確に対応できる。
- Point | 3 情報や体験をまとめ、プレゼンテーションができる。
- Point | 4 対立する論点についてディベートができる。



2. 豊富な授業数と充実したコミュニケーション活動を通して

Point | 1 英語の授業は週6~7時間

週6~7時間の授業は英語でのコミュニケーションの場です。授業は英語で行うことを基本とし、日本語は必要最小限にとどめ、生徒が英語に触れる機会を充実させます。

Point | 2 実践的な運用能力

授業でのペアワーク、グループワーク、レシテーション、プレゼンテーション、ディベートなどさまざまなアクティビティを通して、英語を英語で理解し、表現できる実践的な運用能力を養います。

Point | 3 「聞く、話す、読む、書く」4つの技能

これらのアクティビティに加え、ネイティブスピーカーによる小規模クラスでの授業や、言語運用の力を伸ばす「Call システム」を用いた授業により、習った内容を実際に自分の言葉で表現する能力を育成します。これにより、訳読や和文英訳、文法指導にとどまらず、「聞く、話す、読む、書く」4つの技能をバランスよく伸ばします。

Point | 4 CLIL による授業

CLIL (内容言語統合型学習) は、ヨーロッパにおける中心的な言語習得のアクティブ・ラーニングのひとつです。その教授法や教材研究開発を、上智大学言語教育研究センター長藤田保教授、逸見シャントール教授の指導のもとおこなっています。CLIL による授業では、4技能でグループワークを多用しながら異文化理解、国際問題などに関するメディア上の生情報を理解、分析し、自分なりの見解を持たせます。このようにして地球規模の課題に対する思考力、判断力を養い、英語力を伸ばします。

Point | 5 海外語学研修

上智福岡中学高等学校では、「世界の中の日本」という視点をもって世界で活躍する人に必要な英語力の基礎を学びます。そして実際に、英語が分かる、英語を使うことができることを体感するために、海外語学研修を準備しています。海外語学研修は、中学3年間で身につけた英語の4技能の成果を実際に試す場であり、コミュニケーションができる喜びと難しさを知ること、さらにステップアップした高校英語への懸け橋となるものです。

Point | 6 外部英語試験の定期的な受験

授業で培った英語力を図るため、定期的に英検、GTEC、TEAP を受験しています。英検については高3までに2級以上を約60%の生徒が取得しています。



充実したグローバルリーダー 育成プログラム

グローバルリーダーに必要な資質を育てる生徒の主体的体験・内省・実践の機会を豊富に擁しております。これらの体験は、教室での学びの質を高めるばかりではなく、人生の目標を見つけ、意欲的に学習に取り組むきっかけにもなります。



1 上智大学との 教育提携プログラム

- 上智大学出張授業
- 上智大学サマー・ティーチング・プログラム
- 英語カリキュラム共同開発
- 授業力向上研修

2 海外研修

- 海外語学研修(中3)
- アジア太平洋イエズス会
姉妹校リーダーシップフォーラム
- カンボジア スタディツアー

3 国内研修・ボランティア

- 大名町教会炊き出しボランティア
- 釜ヶ崎ボランティア
- 東ティモール支援プロジェクト

4 留学生受け入れ・国際交流

5 コンテスト



上智大学との教育提携で教育理念に沿った教育提携プログラムを実施しています。

本校は教育理念を同じくする上智大学と2010年度より教育提携を結び「より大いなるものを知り、他者に奉仕し、世界への懸け橋となるリーダー」の育成に力を合わせて取り組んでいます。この教育提携プログラムの内容は次のとおりです。

1 幅広い教養・グローバルコンピテンシーの育成

生徒は6年間、毎年上智大学の豊富な教授陣の指導と、大学との様々な企画の中で、グローバルな時代に生きる生徒に欠かすことのできない幅広い教養とグローバルコンピテンシーを身につけます。

出張授業『叡智の世界』(2022年度はオンラインで実施しました)

学部・学科	講師	対象	内容
外国語学部 ドイツ語学科	佐藤 友紀子 助教	中1	ことばとメディア比較 AI・グローバル時代における外国語スキルの役割とは?
総合人間科学部 看護学科	島田 真理恵 教授	中1	医療から考える命の大切さ
文学部 ドイツ文学科	小松原 由理 准教授	中2	ドイツ語圏の「お笑い文化」を考える
理工学部 情報理工学科	中筋 麻貴 教授	中2	ズルイ計算～無限に足すとどうなる?～
法学部 地球環境法学科	筑紫 圭一 教授	中3	プラスチックごみの問題
経済学部 経済学科	出島 敬久 教授	中3	日本の賃金が上がりにくい理由とこれから
理工学部 物質生命理工学科	安増 茂樹 教授	中3	遺伝子とその発現
総合人間科学部 心理学科	樋口 匡貴 教授	高1	他者を見つめる自己～印象形成の心理学～
理工学部 機能創造理工学科	黒江 晴彦 准教授	高1	ダイヤモンド・ルビー・量子力学:さて何ができる?
国際教養学部 国際教養学科	村井 則子 准教授	高2	Japan as Image: Cultural Representation and Visual Literacy
神学部 神学科	小山 英之 教授	高3	ロシアのウクライナ侵攻を機に「平和」について考える



在校生からのメッセージ



上智福岡での
高校生活
杉山 一路さん
(高校3年生)
※2023年在学時

中高一貫校であること、先生と生徒の関係が非常に良好であること、私が上智福岡で過ごしてきて良かったと思うことは、この二つです。

中高一貫校のメリットは、学習も学校生活も中学校から高校へとスムーズに進むことができることです。教科の内容を先取りするだけではなく、より深く学ぶことができます。また、中学校から高校に進級するタイミングでは、友達作りや部活の入部に大きな労力を割くことがないので、落ち着いて高校生活を始められます。

もう一つ、先生方と生徒たちの関わりも、みなさんに知っていただきたいことです。学年の生徒だけでなく、先生方も長い期間を一緒に過ごすので、先生方は私たち生徒のパーソナリティをよく理解してくださっていて、一人ひとりに最適な方法で寄り添ってくださいます。だから、私たちもお互いを大切にできるようになるのだと思います。

上智大学サマー・ティーチング・プログラム(中3)

上智大学外国語学部英語学科の学生約20名が来校し、夏休み中の6日間、中学3年生に英語を指導します。少人数グループでの楽しいアクティビティを通して英語でコミュニケーションをするおもしろさを学びます。



2 教育力の向上

英語カリキュラム共同開発

上智大学言語教育研究センター長などを歴任された吉田研作教授の指導の下、2010年度より2020年度まで6カ年の英語カリキュラムを開発してまいりました。また年3回英語科研修を実施し英語指導法の向上を図っています。

授業力向上研修

上智大学総合人間科学部教育学科より教員を招聘し、アクティブ・ラーニング技術など、全教員の授業力向上に取り組んでおります。

3 教育提携校特別推薦

教育提携校特別推薦として40名枠があります。



上智福岡での
学び
中原 綾乃さん
(中学3年生)
※2023年在学時

私が上智福岡に入学してよかったと思う理由は、まず充実した英語教育を受けることができることです。英語の授業が多く、スピーチコンテストが行われたり、ネイティブの先生と実際に会話をすることによって、より実践的な英語コミュニケーション能力を身につけることができます。

次に、完全中高一貫である点です。体育祭等の大きな行事は中学生と高校生が協力しあって取り組みます。そのため、先輩方の姿を見て、自主的に考え責任感を持って行動することの大切さを学ぶことができました。

そして、授業の教科が多いため様々な分野のことを学ぶことができ、6年間を通して将来の自分についてじっくりと考えることができるという点も、よかったと思っています。

これからみなさんと一緒に上智福岡でともに成長していけることを心から願っています。